

JOSKAS ニュースレター

発行：一般社団法人 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS)

URL:<http://www.joskas.jp/>

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル (株式会社コングレ内) TEL: 03-3263-5394 FAX: 03-5216-5552

理事長挨拶

理事長 安達 伸生 広島大学 整形外科



この度、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS) 理事会の決定により理事長を拝命いたしました。大変な重責に身の引き締まる思いであり、JOSKAS 設立から理事長をされ本学会を大きく発展された越智光夫前理事長の後任として、誠心誠意尽くしたいと考えております。会員の先生方には今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

日本における膝関節、関節鏡、スポーツ整形外科の歴史は長く、多くの偉大な先生方により築きあげられてきました。特に高木憲次先生、渡辺正毅先生を中心として日本で開発された関節鏡の歴史はそのまま世界の関節鏡の歴史でもあります。1974年、渡辺正毅先生が国際関節鏡学会の初代会長に就任され、「Father of Arthroscopy」の称号が与えられました。翌1975年には日本関節鏡学会および日本膝関節研究会が渡辺正毅先生を会長として設立されています。一方、1980年東京膝関節学会が設立（初代会長：伊勢亀富士朗先生）、2000年に日本関節鏡研究会と統合され、日本膝関節学会（初代会長：腰野富久先生）となりました。2009年、日本膝関節学会と日本関節鏡学会が発展的に統合され誕生したのが JOSKAS です。2013年7月1日より一般社団法人へ移行しています。このように JOSKAS は膝関節、関節鏡、スポーツ整形外科を牽引してきたいくつかの学会や研究会の流れを持つ、大変長い歴史を有する学会であります。

JOSKAS としての第1回学術集会および JOSKAS セミナーは、2009年史野根生先生を会長として札幌にて開催されました。その後会員数も飛躍的に増加し、2018年9月現在4200名を越えています。JOSKAS の目的は「関節鏡、膝関節、スポーツ医学及びその関連分野に関する基礎的・臨床的研究の成果の発表の促進をはかり、ひいては整形外科学の発展に貢献することを目的とする」とあります。具体的には学術集会の開催、邦文学術雑誌

(JOSKAS 誌) および英文学術雑誌 (AP-SMART: The Asia-Pacific Journal of Sports Medicine, Arthroscopy, Rehabilitation and Technology) の発行、国内外の関連学術団体との連携や提携などを積極的に行っています。国際的には ISAKOS (International Society of Arthroscopy, Knee Surgery and Orthopaedic Sports Medicine)、APKASS (Asia-Pacific Knee, Arthroscopy and Sports Medicine Society)、国内では日本整形外科スポーツ医学会 (JOSSM)、臨床スポーツ医学会などとの連携が今後より一層重要となります。特に JOSSM とは 2020年、2021年、2022年には学術集会を合同開催することが決定しています。引き続き国内外の関連学会とよりよい協調関係を築きあげていきたいと考えております。

また、関節鏡、膝関節、スポーツ医学を目指す若手医師やコメディカルの育成も喫緊の課題です。現在 JOSKAS セミナーの開催、研究助成、SFA (フランス関節鏡学会)、SIGASCOT (Società Italiana del Ginocchio Artroscopia Sport Cartilagine Tecnologie Ortopediche) との国際トラベリングフェロー、国内での JOSKAS フェローシップ、JOSKAS 学会賞、Outstanding Young Investigator Award など多くのプロジェクトを進めています。現在まで多くの先生方がこれらのフェローシップや助成金を獲得されましたが、大変好評であります。多くの若手整形外科医、コメディカルの方々がより多く、広く知識や経験を獲得する場を得て、将来的に大きく飛躍できる機会を提供できるよう担当委員会を通じて制度を整備してまいります。

最後になりますが、今後とも会員の先生方ならびに関係各位のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

新理事挨拶



高知大学医学部 整形外科 池内 昌彦

このたび安達理事長新体制のもと、JOSKAS 理事の大任を拝命いたしました池内でございます。身に余る光栄であり、その責務の重大さを痛感しております。私は本学会の前身の日本膝関節学会と日本関節鏡学会において、また 2009 年からは統合された JOSKAS において多くのことを学び関節外科医として育てていただきました。今後本学会がさらに発展するよう微力ながら努力してまいり所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。



滋賀医科大学 整形外科 今井 晋二

この度、新たに日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（JOSKAS）の理事に就任しました滋賀医科大学整形外科の今井でございます。我が国の関節鏡外科は、手術に特化するだけでなく、再生医療など先端医療を担う研究が要求されてきました。世界で最初に関節鏡を開発した歴史を持つ我が国の次世代整形外科医には、この領域を今後更に深化していく土壌と責任があります。幅広い役割が期待されている次世代の関節鏡外科医の啓発と連携に誠心誠意全力を尽くす所存でございます。今後ともよろしくお願いいたします。



東京女子医科大学 整形外科 岡崎 賢

この度、JOSKAS 理事を拝命し誠に光栄に存じます。私はこれまで主に膝関節外科の領域において、靱帯損傷や半月板損傷の病態と手術治療に関する研究、軟骨損傷と変性に関する臨床研究や基礎研究、変形性膝関節症の病態に関する研究、そして膝周囲骨切り術や人工膝関節置換術における臨床研究をおこなってきました。これからも学会員の研究および臨床力の向上のために尽力し、学会のさらなる発展に寄与できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



神戸大学 整形外科 黒田 良祐

このたび、伝統ある日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会の理事に就任させていただくことになりました。私は臨床において膝関節外科・スポーツ整形外科を専門とし、基礎研究において膝関節バイオメカニクスや膝靱帯・関節軟骨再生などを行っております。学術的には国際委員会などを通して本学会に長年にわたり深くかわらせていただいております。微力ながら本学会の発展に尽力致す所存でございます。会員の皆様にはご指導ご支援を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



重城病院 CARIFAS 足の外科センター 高尾 昌人

この度、一般社団法人日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（JOSKAS）の理事を拝命いたしました。JOSKAS は、1975 年に発足した日本関節鏡学会および日本膝関節研究会を母体とし、諸先輩方のご尽力により大なる発展を遂げ、会員数 4,200 名を超える日本でも有数の専門学会となりました。伝統と活力を併せ持つ本学会の運営に携わること身に引き締まる思いです。JOSKAS のさらなる発展のために、安達理事長の下、全力で職務に取り組む所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



横須賀市立市民病院 関節外科 **竹内 良平**

この度、JOSKASの理事を拝命させていただきました横須賀市立市民病院関節外科の竹内良平です。社会保険委員会の担当理事も務めさせていただきます。私事ですが、2019年4月1日より川崎幸病院に勤務いたします。最近話題の膝周囲骨切り術を専門としています。以前は高位脛骨骨切り術が主体でしたが、近年は下肢全体でのアライメント矯正を目指した膝周囲骨切り術（Around the Knee Osteotomy：AKO）という考え方が広まってきました。今後はJOSKASのさらなる発展に貢献させていただくことはもちろんのこと、この学会を通してAKOの可能性と膝関節再生術の発展にも寄与したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



大阪保健医療大学 保健医療学部 **中村 憲正**

この度理事に就任し、ニュースレター担当理事に加えて機能評価、国際委員を務めさせていただきます。次世代を担う若い先生方が世界の一線で活躍し、JOSKASを通して日本の整形外科研究が国際的発信力を持つことができるよう微力ながら努力いたします。また現在、再生医療やBiologic治療など新たな治療法の運動器領域への導入も始まっていますが、これらと関節外科学との融合によるJoint Preservation治療の確立は今後の治療法のパラダイムシフトを引き起こすことが期待されます。この推進のためにJOSKASが担う役割は大きなものがあると思っておりますし、その実現のために本学会および関連学会の先生方と力を合わせ取り組んでいきたいと考えております。今後JOSKASがさらに魅力的でより多くの先生方に御参加していただける組織となれるよう頑張ります。会員の皆様には何卒宜しくご指導、ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

JOSKAS 委員会 委員 (2019年1月31日現在) *…アドバイザー

委員会名	担当理事	委員長	アドバイザー／委員								
学会誌編集委員会	松田 秀一	堀部 秀二	赤木 将男 出家 正隆	池内 昌彦 中佐 智幸	岩堀 裕介 野崎 正浩	黒田 良祐 望月 由	佐野 博高 山本 宣幸				
社会保険委員会	竹内 良平	須田 康文	秋山 武徳 三嶋 真爾	小谷 明弘 山口 智志	藤間 保晶 和田 佑一	中川 照彦 -	原藤 健吾 -				
学術用語委員会	田中 康仁	高尾 昌人	阿部 信寛 望月 由	小林 龍生 柳下 和慶	酒井 宏哉 -	二木 康夫 -	松本 秀男 -				
国際委員会	黒田 良祐	古賀 英之	井樋 栄二 山本 宜幸	西良 浩一 -	中村 憲正 -	星野 祐一 -	松田 秀一 -				
倫理委員会	今井 晋二	石橋 恭之	上松 耕太 真柴 賛	内尾 祐司 -	岡崎 賢 -	黒田 良祐 -	中田 研 -				
COI委員会	今井 晋二	高橋 敏明	阿部 信寛 -	内尾 祐司 -	近藤 英司 -	関矢 一郎 -	津田 英一 -				
将来構想委員会	安達 伸生	中田 研	越智 光夫* 関矢 一郎	石橋 恭之 武富 修治	井樋 栄二 田中 康仁	黒田 良祐 遠山 晴一	佐藤 卓 -				
教育研修委員会	西良 浩一	-	石橋 恭之 堀部 秀二	金森 章浩 濱田 大輔	上村 民子 -	中川 匠 -	中村 英一 -				
機能評価委員会	出家 正隆	大森 豪	池田 浩 福井 尚志	佐粧 孝久 -	高橋 敏明 -	遠山 晴一 -	中村 憲正 -				
広報委員会	高尾 昌人	熊井 司	大森 豪 前 達雄	荻内 隆司 -	落合 聡司 -	黒河内 和俊 -	菅谷 啓之 -				
ガイドライン策定委員会	遠山 晴一	津田 英一	岩堀 裕介 中前 敦雄	内田 宗志 中村 俊康	下園 由泰 前 達雄	高尾 昌人 三浦 和知	中川 晃一 望月 由				
専門医制度検討委員会	池内 昌彦	三浦 裕正	古賀 英之 丸毛 啓史	高井 信朗 -	土屋 明弘 -	中瀬 順介 -	堀部 秀二 -				
定款等検討委員会	岡崎 賢	北村 信人	吉矢 晋一* 前田 朗	小川 宗宏 真島 任史	園田 昌毅 三嶋 真爾	橋本 祐介 -	本庄 宏司 -				
財務委員会	内尾 祐司	-	安達 伸生 中前 敦雄	井樋 栄二 古松 毅之	近藤 英司 -	津田 英一 -	寺本 篤史 -				
ニュースレター委員会	中村 憲正	-	井上 雅之 橋本 祐介	熊橋 伸之 松下 雄彦	佐藤 卓 -	杉本 和也 -	園田 昌毅 -				
関節鏡技術認定制度委員会	石橋 恭之	出家 正隆	宗田 大* 田中 美成	落合 聡司 土屋 明弘	菅谷 啓之 中川 匠	高尾 昌人 中田 研	田島 卓也 二木 康夫				

第10回

日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（JOSKAS）学術集会を終えて

東京医科歯科大学名誉教授・
災害医療センター院長

会長 宗田 大

「知の開花・知の解放 JOSKAS10年」をテーマとして福岡で開催した本会の第一の懸念は天候でした。しかし天気予報通り、やや暑すぎではありましたが連日の晴天は開催者にとって何よりもうれしい恵みでした。学会の目標とした国際化の意義は、参加者がより国際的な議論や知識を理解し、国際学会における日本の現状を意識してさらに高め、研究自体を深めることにあります。今回の学会では座長も演者も世界を代表する招待者と我が国の代表で構成され、流暢でなくとも通訳なしの英語で議論を楽しむことができました。学会後に多くの先生から寄せられたご意見から特に国際シンポジウムの成功を確信しました。会長の予想を上回る議論の盛り上がりは何よりもうれしいものでした。また国際交流は連日の会食でも深めることができました。今後本会を通じて得られた国際交流の深まりの発展を期待します。今回初めてすべての講演・口演で英語のパワーポイントを用い、多くの英語セッションを設定しましたが各会場ともそれなりの盛況だったようです。一方e-ポスターを用いた会場は英語を好まない？参加者であふれかえっていたことも事実であり、今後の検討が必要でしょう。1300以上の応募演題数も、3000名を超えた参加者も過去最高であり、開催者としてうれしい限りでした。お世話になった関係企業・業者にも改めて御礼を申し上げる次第です。

JOSKAS セミナーは本会と同時開催する大切な行事です。今回は土曜日に本会と並列で開催しましたが賛否両論がありました。豚膝を用いた実技は特に好評だったようです。8月終わりの札幌でのカダバーワークショップも恒例となった大切な行事です。どちらのセミナーも企業からの支援が大きく、今後の健全な発展が課題だと思えます。

今回の JOSKAS で理事長をはじめ多くの役員が引退となりました。若返った JOSKAS の更なる発展を祈念いたします。



2018年度OYIAノミネート一覧

- ▼安井 洋一 (帝京大学医学部附属病院 整形外科)
- The Risk of Achilles Tendon Rupture in the Patients with Achilles Tendinopathy: Healthcare Database Analysis in the United States. *Biomed Res Int.* 2017; 2017: 7021862
 - Reoperation rates following ankle ligament procedures performed with and without concomitant arthroscopic procedures. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc.* 2017 Jun 25 (6): 1908-1915.
 - Use of the arthroereisis screw with tendoscopic delivered platelet-rich plasma for early stage adult acquired flatfoot deformity. *Int Orthop.* 2017 Feb;41 (2):315-321
 - Operative Treatment for Osteochondral Lesions of the Talus: Biologics and Scaffold-Based Therapy. *Cartilage.* 2017 Jan; 8(1): 42-49.
 - Extracellular Matrix Cartilage Allograft and Particulate Cartilage Allograft for Osteochondral Lesions of the Talus: A Systematic Review. *Am J Sports Med.* 2017 Aug 15:363546517717494.
 - The Subchondral Bone Is Affected by Bone Marrow Stimulation: A Systematic Review of Preclinical Animal Studies. *Cartilage.* 2017 Jun 1
 - Lesion Size Is a Predictor of Clinical Outcomes After Bone Marrow Stimulation for Osteochondral Lesions of the Talus: A Systematic Review. *Am J Sports Med.* 2017 Jun 45 (7):1698-1705.
 - Systematic review of bone marrow stimulation for osteochondral lesion of talus - evaluation for level and quality of clinical studies. *World J Orthop.* 2017 Dec 18(12):956-963.
- ▼田代 泰隆 (九州労災病院 整形外科・スポーツ整形外科)
- The Graft Bending Angle Can Affect Early Graft Healing After Anterior Cruciate Ligament Reconstruction: In Vivo Analysis With 2 Years' Follow-up. *Am J Sports Med.* 2017 Jul;45 (8):1829-1836
 - In Vivo Analysis of Dynamic Graft Bending Angle in Anterior Cruciate Ligament-Reconstructed Knees During Downward Running and Level Walking: Comparison of Flexible and Rigid Drills for Transportal Technique. *Arthroscopy.* 2017 Jul;33 (7):1393-1402
 - Comparison of graft bending angle during knee motion after outside-in, trans-portal and trans-tibial anterior cruciate ligament reconstruction. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc.* 2017 Jan;25 (1): 129-137
 - Anterolateral rotatory instability in vivo correlates tunnel position after anterior cruciate ligament reconstruction using bone-patellar tendon-bone graft. *World J Orthop.* 2017 Dec;8 (12):913-921
- ▼小倉 誉大 (船橋整形外科病院 診療部)
- Long-term outcomes of autologous chondrocyte implantation in adolescent patients. *The American journal of sports medicine.* 2017 Apr;45 (5):1066-74.
 - A 20-year follow-up after first-generation autologous chondrocyte implantation. *The American journal of sports medicine.* 2017 Oct;45 (12):2751-61.
- ▼和田 佳三 (徳島大学病院 整形外科)
- Influence of Medial Collateral Ligament Release for Internal Rotation of Tibia in Posterior-Stabilized Total Knee Arthroplasty: A Cadaveric Study. *Journal of Arthroplasty*
 - Variations in the obturator artery around the obturator foramen assessed by three-dimensional computed tomographic angiography and prevention of vascular-related complications in rotational acetabular osteotomy. *International Orthopaedics.*
 - Diffusion tensor imaging and tractography of the sciatic nerve: assessment of fractional anisotropy and apparent diffusion coefficient values relative to the piriformis muscle, a preliminary study. *Skeletal Radiology*
 - Piriformis muscle syndrome with assessment of sciatic nerve using diffusion tensor imaging and tractography: a case report. *Skeletal Radiology*
 - Cementless calcar-replacement stem with integrated greater trochanter plate for unstable intertrochanteric fracture in very elderly patients. *Journal of Orthopaedic Surgery*
- 石松 哲郎 (福岡大学病院 整形外科)
- Three-dimensional computed tomography analysis on bony birth canal after bilateral periacetabular osteotomy. *J.Orthop.Sci.* (2017, 22(3):531-535)
 - Return to sporting activity after osteochondral autograft transplantation for Freiberg disease in young athletes. *Arch.Orthop.Trauma.Surg.* (2017, 137 (7):959-965)
- 小林 秀郎 (国立病院機構横浜医療センター 整形外科)
- Edoxaban is effective in reducing the incidence of asymptomatic phlebographic events following closed wedge high tibial osteotomy. *Orthopaedics & Traumatology: Surgery & Research.* 103 (8):1193-6, 2017.
 - Radiographic and computed tomographic evaluation of bone union after medial opening wedge high tibial osteotomy with filling gap. *Knee.* 24 (5):1108-17, 2017.
- Influence of coronal bowing on the lower alignment and the positioning of component in navigation and conventional total knee arthroplasty. *Orthopaedics & Traumatology: Surgery & Research.* 103 (2): 251-6, 2017.
 - The use of factor Xa inhibitors following opening-wedge high tibial osteotomy for venous thromboembolism prophylaxis. *Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy.* 25 (9): 2929-35, 2017.
- 高野 昇太郎 (北里大学大学院 医療系研究科 臨床医科学群 整形外科)
- Nerve growth factor regulation and production by macrophages in osteoarthritic synovium. *Clinical & Experimental Immunology*
 - Increase and regulation of synovial calcitonin gene-related peptide expression in patients with painful knee osteoarthritis. *Journal of Pain Research*
 - Adrenomedullin Regulates IL-1β Gene Expression in F4/80+ Macrophages during Synovial Inflammation. *Journal of Immunology Research*
- 谷川 英徳 (済生会横浜市東部病院 整形外科)
- Local infiltration of analgesia and sciatic nerve block provide similar pain relief after total knee arthroplasty. *J Orthop Surg Res.* 2017 Jul 11;12 (1):109.
 - Influence of Total Knee Arthroplasty on Patellar Kinematics and Patellofemoral Pressure. *J Arthroplasty.* 2017 Jan;32 (1):280-285.
- 千葉 大輔 (弘前大学大学院 整形外科)
- Meniscal extrusion seen on ultrasonography affects the development of radiographic knee osteoarthritis: a 3-year prospective cohort study. *Clinical Rheumatology*
 - Anthropometric and skeletal parameters predict two-strand semitendinosus tendon size in double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction. *Orthopaedic Journal of Sports Medicine*
 - Tunnel malpositions in anterior cruciate ligament risk cartilaginous changes and bucket-handle meniscal tear: Arthroscopic survey in both primary and revision surgery. *Journal of Orthopaedic Science.*
 - Low prevalence of knee chondrocalcinosis and its catabolic association by use of serum matrix metalloproteinase 3: A rural Japanese population study. *International Journal of Rheumatic Diseases.*
- 墳本 一郎 (近畿大学 整形外科)
- Anteroposterior Rotational References of the Tibia for Medial Unicompartmental Knee Arthroplasty in Japanese Patients. *The Journal of arthroplasty.* 2017, 32, 10: 3169-3175.
 - The Development of a Novel Bone Filler, Titanium Wire Ball. *Acta Medica Okayama.*2017, 71: 19-24.
- 豊坂 正徳 (神戸大学医学研究科・附属病院 整形外科)
- Effects of Suture and Tourniquet on Intraoperative Kinematics in Navigated Total Knee Arthroplasty. *J Arthroplasty.* 2017 Jun;32 (6):1824-1828.
 - Pseudoaneurysm of the articular branch of the descending genicular artery following double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc.* 2017 Sep;25 (9): 2721-2724.
 - Posterior condylar offset influences the intraoperative soft tissue balance during posterior-stabilized total knee arthroplasty. *J Orthop Sci.* 2017 Nov;22 (6):1071-1076.
 - Additional Visualization via Smart Glasses Improves Accuracy of Wire Insertion in Fracture Surgery. *Surg Innov.* 2017 Dec;24 (6):611-615.
- 殿谷 一朗 (徳島大学 運動機能外科学)
- Radiographic changes in coronal alignment of the ankle joint immediately after primary total knee arthroplasty for varus knee osteoarthritis. *Foot Ankle.* 2017;10 (2):2.
 - Morphology of the incisura fibularis at the distal tibiofibular syndesmosis in the Japanese population. *J Foot Ankle Surg.* 2017 Nov - Dec;56 (6):1147-50.
 - Custom-made alumina ceramic total talar prosthesis for idiopathic aseptic necrosis of the talus: Report of two cases. *Case Rep Orthop.* 2017;2017:8290804.
 - Pseudoaneurysm of the Anterior Tibial Artery following Ankle Arthroscopy in a Soccer Player. *Case Rep Orthop.* 2017;2017:2865971.
- 中山 寛 (兵庫医科大学 整形外科)
- Asia Pac J Sports Med Arthrosc Rehabil Technol. 2017 Jun 7;10:4-7.
 - Clinical outcome of meniscus repair for isolated meniscus tear in athletes. *J Foot Ankle Surg.* 2017 Nov - Dec;56 (6):1147-50.
 - Custom-made alumina ceramic total talar prosthesis for idiopathic aseptic necrosis of the talus: Report of two cases. *Case Rep Orthop.* 2017;2017:8290804.
 - Pseudoaneurysm of the Anterior Tibial Artery following Ankle Arthroscopy in a Soccer Player. *Case Rep Orthop.* 2017;2017:2865971.
- 松村 昇 (慶應義塾大学 整形外科 助教)
- Quantitative assessment of fatty infiltration and muscle volume of the rotator cuff muscles using 3-dimensional 2-point Dixon magnetic resonance imaging. *Journal of Shoulder and Elbow Surgery*
 - Three-dimensional quantitative analysis of humeral head and glenoid bone defects with recurrent glenohumeral instability. *Journal of Shoulder and Elbow Surgery*
- 松下 雄彦 (神戸大学附属病院 整形外科)
- Clinical outcomes and biomechanical analysis of posterolateral bundle augmentation in patients with partial anterior cruciate ligament tears. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc.* 2017; 25 (4): 1279-1289.
 - Patient-based outcomes after medial patellofemoral ligament reconstruction. *Int Orthop.* 2017;41 (6):1147-1153.
 - Factors associated with the status of meniscal tears following meniscal repair concomitant with anterior cruciate ligament reconstruction. *Connect Tissue Res.* 2017;58 (3-4):386-392.
 - High tibial osteotomy combined with cancellous bone graft and osteochondral autograft transplantation in a patient with massive osteochondral defects in the medial femoral condyle: A case report and literature review. *J Orthop Surg.* 2017;25 (1):1-6
- 箕田 行秀 (大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科)
- Comparison of in vivo polyethylene wear particles between mobile- and fixed-bearing TKA in the same patients. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc.* 2017 Sep;25 (9): 2887-2893.
 - Impingement of the patellar component against the tibial post after posterior stabilized and constrained TKA: a pilot study. *Arch Orthop Trauma Surg.* 2017 Jun;137 (6):861-865.
 - Detection of bone defects around zirconium component after total knee arthroplasty. *Knee.* 2017 Aug;24 (4):844-850.
 - Sequentially annealed highly cross-linked polyethylene reduced in vivo wear particle generation in total knee arthroplasty. *J Orthop Surg (Hong Kong).* 2017 May-Aug;25 (2): 230949901718909.
- 飯本 浩光 (国立病院機構京都医療センター 整形外科)
- Surgical technique and clinical outcomes of retrograde osteochondral autograft transfer for osteochondral lesions of the tibial plateau. *Journal of Arthroscopy.* 2017, 33:1241-47
 - Osteochondral autograft transplantation for isolated patellofemoral osteoarthritis. *Knee.* 2017, 24 (6): 1498-1503
- cadaveric study. *Journal of Biomechanics*
- Comfort and acceptability of various immobilization positions using a shoulder external rotation and abduction brace. *Journal of Orthopaedic Science*
 - Effect of smoking on complications following primary shoulder arthroplasty. *Journal of Shoulder and Elbow Surgery*
- 藤井 政孝 (ふじい整形外科 院長・岡山大学 整形外科)
- Tensile strength of the pullout repair technique for the medial meniscus posterior root tear: a porcine study. *International Orthopaedics.* 2017 Oct;41 (10):2113-2118. doi: 10.1007/s00264-017-3561-8.
 - Bony landmark between the attachment of the medial meniscus posterior root and the posterior cruciate ligament: CT and MR imaging assessment. *Skeletal Radiology.* 2017 Aug;46 (8):1041-1045. doi: 10.1007/s00256-017-2625-6.
 - A novel suture technique using the FasT-Fix combined with Ultrabraid for pullout repair of the medial meniscus posterior root tear. *European Journal of Orthopaedic Surgery & Traumatology.* 2017 May;27 (4):559-562. doi: 10.1007/s00590-017-1930-z.
- 古松 毅之 (岡山大学病院 整形外科)
- An analysis of pathological activities of CCN proteins in joint disorders: Mechanical stretch-mediated CCN2 expression in cultured meniscus cells. *Methods Mol Biol* 2017;1489:533-42.
 - A new aiming guide can create the tibial tunnel at favorable position in transtibial pullout repair for the medial meniscus posterior root tear. *Orthop Traumatol Surg Res* 2017;103:367-71.
 - A giraffe neck sign of the medial meniscus: a characteristic finding of the medial meniscus posterior root tear on magnetic resonance imaging. *J Orthop Sci* 2017;22:731-6.
 - Medial meniscus extrusion correlates with disease duration of the sudden symptomatic medial meniscus posterior root tear. *Orthop Traumatol Surg Res* 2017;103:1179-82.
 - Arthroscopic repair of the medial meniscus radial/oblique tear prevents the progression of meniscal extrusion in mild osteoarthritic knees. *Acta Med Okayama* 2017;71:413-8.
 - Meniscal extrusion progresses shortly after the medial meniscus posterior root tear. *Knee Surg Relat Res* 2017;29:295-301.



安井 洋一先生



小倉 誉大先生



田代 泰隆先生



和田 佳三先生

帝京大学医学部附属病院 整形外科 **安井 洋一**

このたびは、大変名誉な賞を賜り大変光栄に存じます。本賞は、私が2年連続、帝京大学としては宮本巨先生から数えて3年連続の受賞になり、医局員一同、大変嬉しく存じます。この場をお借りして、若手医師にとってやる気にも元気にもつながる素晴らしい賞を設けて頂きました JOSKAS 執行部の先生方、スタッフの方々に深謝いたします。また、帝京大学整形外科学講座の河野博隆主任教授をはじめ、先輩、同僚、後輩の皆さま、いつもサ

ポートして頂き、本当にありがとうございます。今春より帝京大学では、帝京大学スポーツ医科学センターに加えて、スポーツ外傷・関節鏡センターを立ち上げ、膝の中川匠センター長、足の宮本巨先生、肩の伊藤正明先生を中心に一同でアスリートの競技継続&復帰を支援しています。今後、JOSKAS でお世話になる医師が増えますので、引き続き、帝京大学整形外科の医師を温かくご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

船橋整形外科病院 スポーツ医学センター **小倉 誉大**

この度は、OYIA 賞という栄誉ある賞を頂きありがとうございました。私は、所属する船橋整形外科病院の海外留学制度により、2013年より米国ボストンにある Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School へ留学する機会を与えて頂きました。本賞の対象業績は留学中の研究論文です。留学の機会を与えて頂いた船橋整形外科病院の皆様、留学先で指導して頂いた先生方、同僚、また慣れない海外生活を最後まで支えてくれた家族に感謝したいと思います。今後ともご指導ご鞭撻どうぞよろしくお願い申し上げます。

九州労災病院 整形外科・スポーツ整形外科 **田代 泰隆**

このたび、栄誉ある OYIA 賞の受賞を大変光栄に思います。解剖学的 ACL 再建膝に対する Open MRI を用いた回旋不安定性評価や、靭帯治療へのバイオメカニカルな影響因子としての graft bending angle の研究を評価していただきました。これまで膝関節外科の臨床と研究でご指導下さいました三浦裕正先生、松田秀一先生、岡崎賢先生と留学先でお世話になった Freddie Fu 先生に深謝申し上げます。

徳島大学 整形外科 **和田 佳三**

この度は OYIA 賞にご選考頂き、誠にありがとうございます。西良浩一教授はじめ、ご指導ご協力いただきました徳島大学整形外科の皆様感謝申し上げます。名誉ある本賞の名に恥じぬよう、今後も益々精進して参る所存です。また今回の受賞には徳島大学クリニカルアナトミー教育研究センターでの研究論文が含まれております。これらの研究に貴重なご遺体をご献体頂きました徳島大学白菊会の皆様にも重ねまして深謝申し上げ、受賞に寄せる言葉とさせていただきます。

2018 JOSKAS 学会賞 受賞者のことば

関節鏡賞

横浜市立大学 整形外科・小田原市立病院 整形外科

大石 隆幸



大石 隆幸先生

このたびこのような素晴らしい賞を賜りまして大変光栄に存じます。選考に関わられました先生方ならびに関係者の方々に深謝申し上げます。PET および PET/CT を用いた FAI 症例の評価は当教室で継続的に取り組んできた研究テーマであり、本賞受賞はこれまでの研究の積み重ねの結果が評価されたものと考えております。この場をお借りして齋藤知行名誉教授、稲葉裕教授、小林直実先生ならびに当教室医局員の皆様に厚く御礼申し上げます。

膝賞

福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション科

平川 善之



平川 善之先生

論文は、HTO 術前の不安感の強度が術後1年の痛みの予測因子となるという内容です。こうした内容で膝賞を受賞したことに驚きと喜びを感じています。このような学会賞の栄誉を賜り、選考、授賞にご尽力頂いた先生方に深謝申し上げます。またこの場をお借りして、いつも臨床・研究活動にご理解とご協力を頂けている福岡リハビリテーション病院スタッフの皆様はこの賞を捧げます。本当にありがとうございました。

スポーツ賞

JOSKAS 学会賞 スポーツ賞 の受賞に際して

大阪大学大学院医学系研究科 器管制御外科学 (整形外科)

廣瀬 毅人

このたび、第10回 JOSKAS において、私の論文「外傷性不安定肩における関節窩骨棘形成の特徴—年代別 CT 評価からわかること—」が JOSKAS スポーツ賞を受賞させて頂きました。

本研究は手術介入前の外傷性前方不安定肩の関節窩 OA 変化を CT で評価し、その特徴を年代別に明らかにしたものです。これは、私が行岡病院に赴任した時から現在も継続する肩不安定症研究の一つであり、このような賞を頂いたことは大きな喜びです。当時から研究・論文執筆をご指導頂いております中川滋人先生に深く御礼申し上げます。また、日頃からご指導頂いております志野根生先生、前達雄先生をはじめとする阪大スポーツクリニックの先生方、並びに林田賢治先生をはじめとする阪大肩クリニックの先生方にもこの場をお借りして深く御礼申し上げます。



廣瀬 毅人先生

2019 JOSKAS-SFA traveling Fellow/Fellow の募集

JOSKAS では、2015 年より国際親善と相互の技術向上を目的として、フランスの French Arthroscopic Society との間で Traveling Fellowship を行っており、今年は JOSKAS からのフェローをフランスへ派遣する年となります。フェローには、受け入れ施設の訪問・見学のほか、2019 年 12 月 11-14 日にレンヌにて開催される SFA 2019 にて発表をしていただきます。また、学会からは海外渡航経費を支給し、フランスでの旅費・宿泊費は SFA により提供されます。

【募集要項】

募集人員：2 名

応募資格：JOSKAS 正会員

申込時点で 45 歳未満

英会話が堪能

訪問期間：SFA 2019（※現地時間で、2019 年 12 月 11 日-14 日）を含む約 2 週間

渡航援助：1 人あたり 40 万円

提出書類：①英文略歴（業績を含む）

②英文推薦状（JOSKAS-SFA Traveling Fellowship Committee 宛）

③誓約書

④ SFA 2019 abstract

応募締切：2019 年 3 月 15 日（金）※必着

2019 JOSKAS フェローシップ/国内フェローの募集

JOSKAS では、若手会員の技術向上と会員相互の親睦を目的として、35 歳以下の会員を対象に学会から援助金を支給し、事業年度にあわせた 5 月～翌年 4 月末までの間に 1～2 週間程度、国内施設 1～2 カ所を見学する国内留学制度となっております。

【募集要項】

募集人員：5 名（旅費補助として 1 名あたり 10 万円支給）

応募資格：① JOSKAS 正会員であること

②年齢は 2019 年 3 月 31 日現在 35 歳以下であること

訪問期間：2019 年 5 月から 2020 年 4 月までの 1 年間のうち、任意の 1-2 週間

訪問施設：受入れ施設一覧の中から 1-2 施設を自由に選択可。

フェローは各自訪問先と連絡を取り、訪問時期は受入れ施設との間で自由に調整可能。

義務：施設訪問の体験を次年度の学会において報告。

提出書類：①履歴書

②勤務先からの推薦状

③ JOSKAS への誓約書

④訪問希望施設とその施設を希望する理由

応募締切：2019 年 3 月 15 日（金）※必着

※詳細はいつでも学会ホームページ (<http://www.joskas.jp/>) にてご確認ください。

※提出/問合せ先：一般社団法人 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会事務局

〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル (株)コングレ内 TEL: 03-3263-5394/FAX: 03-5216-5552/E-mail: info@joskas.jp

会告

第 11 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会

2019 年 6 月 13 日（木）～15 日（土）

会場：札幌コンベンションセンター 会長：内尾 祐司（島根大学医学部 整形外科学教室）

<https://site2.convention.co.jp/11joskas/>

編集後記

ニュースレター委員会 杉本 和也 奈良県総合医療センター整形外科

臨床研修制度や新専門医制度の導入で整形外科医がさらなる専門性に取り組む時期は遅くなりつつあります。その中で若い会員が多くの英文を執筆し世界に発信していることは頼もしいことです。まもなく平成から新しい元号に変わろうとしています。科学における共通語は英語ですが、今後は AI の進歩で英文誌という概念が消滅し、1 つの科学雑誌がすべての言語で読めるに

違いありません。研究においても英文化の煩わしさから解放され、内容に集中できる時代が来るでしょう。新元号、そして安達新理事長の下、JOSKAS の若い会員から新たなブレークスルーを起こす素晴らしい内容の論文が発信されることを切に願っています。

